

みんなの議会

2017年4月
第69号

春だ!

大安!!

種まきだ!!!

主
な
内
容

- ◎平成29年度予算 可決される
[予算等審査特別委員会] 4～5ページ
- ◎移住定住に優しさを **一般質問** 8ページ
- ◎道外調査報告 議員セミナー 10ページ



平成29年 第1回定例会 3月10日～17日

3月10日から17日まで平成29年第1回定例会が行われました。

上程された主な議案

総務民教常任委員会所管事務調査報告があり、久保委員長の報告のとおり承認されました。

(詳細3ページ)

◎28年度一般会計補正予算1億1400万円を追加し、総額57億5400万としました。

地方交付税の確定や不用額の精査を行い歳出の内容は次のとおりです。

〈主な内容〉

- ・ふるさと納税広告業務委託料 74万円
- ・町道除雪委託料 700万円
- ・長期債元金 8946万円
- ・長期債繰上償還元金 2億6660万円

◎主な条例改正

・沼田町職員の勤務時間、休暇に関する条例の一部改正

・職員の育児休暇に関する条例の一部改正

・（児童福祉法改正に伴う改正）

・沼田町個人情報保護条例の一部改正

・沼田町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報に関する条例の一部改正

（マイナンバー法改正に伴う改正）

・町条例の一部改正

軽自動車税を種別割、環境性能割に改める

（地方税法改正に伴う改正）

◎29年度

一般・特別会計予算

議会では高田副議長を委員長、小峯議員を副委員長とする予算等審査特別委員会に29年度予算9件、条例11件を付託し、意見を付して可決しました。

(詳細4～5ページ)

表紙の写真



北竜3 掘達人さん宅の水稲の種蒔きの作業中におじゃましました。今年も豊作をお祈り致します。



今回の定例議会の傍聴者は、13名でした。

みなさまの傍聴をお待ちしています。

総務民教 常任委員会 ★ 所管事務調査報告

委員長 久保 元宏
副委員長 野 範之
委員 杉 邦雄
大 恒雄
沼 高 勲

駅と共に成長する街づくり

報告書

いよいよ本年、我が町にコンパクト・エコタウンとして、地域密着多機能型総合センターと商業中核施設が完成し運営が始まる。この両施設の中間に位置しているのが、J R 石狩沼田駅だ。我が沼田町は、1910年（明治43年）11月23日に国鉄の沼田駅が開設し、さらに1931年（昭和6年）10月10日に札沼線とも連結した。この間、多くの国や道の出先機関を有しながら町民の活力を生かし、駅と共に成長してきた107年の歴史を持つ。

しかし近年、J R 北海道から「J R 留萌線は持続可能か」と問われている。本委員会がJ R 留萌線を訪ねた留萌市は、J R 駅から放射状に街づくりをしているが、市民の利用度の高い学校、病院、水産加工会社、自衛隊、大型商業モールなどが現在はJ R 駅よりも遠い東側に集積されており、鉄路との有機的な街づ

くりの重要性を感じた。PTAからの意見聴取では、高校生の子を持つ親からは切実にJ R 留萌線を必要としている現実が語られた。子育て世代である彼らは、子の進学先とマイホームの夢を重ねて計画する方が多く、町外に流出して住居を求める傾向を生む事にもなりかねない。

沼田町自治振興協議会との懇談では、町民はJ R 留

萌線の存続を希望していることが熱く語られた。同時に、駅をめぐる町の政策は「待ち」の姿勢ばかりであるとの厳しい声もいただいた。

J R 北海道の姿勢が明確になった今、機を失わないスピード感を持った政策こそが街づくりに必要である。次の3点の意見を示し、調査報告とする。

1. 政策推進室のリーダーシップが必要

沼田町の街づくりの方向性は政策推進室が中心となり、町内の各事業所や町民からのきめ細やかな聴き取りによる政策作り、情報発信などを行う工夫が効果的である。沼田町の資源である駅の活用に、政策推進室の機能を生かす事を望む。

2. J R 北海道と協働できる関係を作れ

町は町内の他の事業所と比較して、J R 北海道と距離があるように見受けられる。駅や路線の活用や利用促進など、お互いに提案しあえる関係を築き、街づくりに生かすべきである。

3. 町民のJ R 駅へのアクセスの確保

高齢者ドライバーの免許の返納や、駅から遠い高校生の通学など、より駅を活用しやすくするよう町も工夫すべきだ。特に高校の無い町として、町内のすべての地域に住む高校生が公平に駅を活用できるようにすることは、移住定住や人口動態に良い影響を与える。

鉄道赤字、2割は10線区

J R 北、昨年度改善策「検討したい」

北海道旅客鉄道（J R 北海道）は6日、利用が少ない赤字10線区の収支状況を初めて公表した。2014年度の数値で、鉄道事業の赤字の約2割を占める。15年4～9月期の連結決算の1日1区間の平均輸送人員（乗客）が39人で、営業人口が減るなか、改善策をめぐって議論が自社の経営者間で進められている。

路線	営業キロ	乗客	収入	費用	赤字
留萌線 留萌一増毛	16.7	39	42.0	4,151	
札沼線 北海道医療大学一十津川	47.6	81	42.9	1,909	
石勝線 新夕張一夕張	16.1	117	41.5	1,247	
根室線 根室一室蘭	81.7	155	47.9	1,430	
留萌線 留萌一深川	50.1	177	45.5	1,316	
日高線 苫小牧一磯谷	146.5	298	413.1	1,022	
宗谷線 釧路一釧路	183.2	405	421.6	543	

技術を開発した。紫外線を当てると赤く発光する「カネレオン発光体」として製造。2～3年後の商用化を目指す。

このため、太陽電池の製造時に発光素材を表面保護フィルムに練りこみ、紫外線を当てると赤く発光する「カネレオン発光体」として製造。2～3年後の商用化を目指す。

このため、太陽電池の製造時に発光素材を表面保護フィルムに練りこみ、紫外線を当てると赤く発光する「カネレオン発光体」として製造。2～3年後の商用化を目指す。

4/9月 菅

委員会



一般会計 48億6,000万円
 特別会計 19億3,800万円
総 額 67億9,800万円

3月10日第1回定例会が開会し、平成29年度予算案などが提出されました。
 予算案・条例案が予算等審査特別委員会に付託され4日間にわたり審議しました。
 総務財政課より29年度地方財政対策のポイントの説明を受け、その後各課より予算の説明を受け質疑を行いました。最終日に総括質問を行い審議の結果、意見を付して条例案11件、予算案9件を可決しました。

平成29年度予算の主な事業

- ・地域密着多機能型総合センター整備事業関係 3億9千万円
- ・旧中学校解体事業 1億6千万円
- ・レジデンスめまた改修事業 2億438万円
- ・移住定住ブランディング戦略事業 5億222万円
- ・健康機械器具導入事業 5億177万円

総括質問

ほたる館の運営は



久保議員
 経営内容にもっと踏み込んで

かかるべきではないか。データなどの分析をどうしているのか。



毎月収支状況を

確認している。利用状況は改善しているが顧客単価が業界全体で安くな



ほろしん温泉 ほたる館

つてきているので苦戦している。改善に向け努力している。どこまで経営に踏み込めるかは難しい問題。

安心センターの整備と運営は



津川議員
 本年できる安心センターに町民が集まってもらうことが重要



久保議員
 だと考えるがPRをどのように



長原議員
 Rをどのように

するの。また、現在ある健康器具の利用状況やPRはどのようになっていくか。安心センターで使用する車両の車庫についてはどのようにするのか。



町民の皆さんを巻き込む仕掛けは

必要と考えている。住民同士が交流できる仕組みを念頭に準備をしている。ふれあいにある健康器具については65歳以上を対象にしたパワーリハビリ事業で活用している。PRはチラシの掲示を行っている。1回に5〜6人利用して指導者がついて実施している。



完成間近の町立クリニック

導入する器具と基本的に違うもので健康維持体向上に利用する。使い分けできるようもっと詰めて精査したい。
 車庫については必要と考えているので中学校の解体後に考えたい。

職員の超過勤務を減らすことはできないか



瀬野議員
 マンパワー不足がなかなか解消されない。プ



久保議員
 レミアムフライ

デーが行われつつある状況で職員全体の中で月1回で

平成29年度 予算等審査特別



委員長 高田 勲
副委員長 小峯 聡

◆ 予算審査の結果 ◆

平成29年度は、沼田町農村型コンパクトエコタウン構想による、商業コミュニティ中核施設と地域密着多機能型総合センターが完成し運用が開始されます。いずれも町民の生活に密着した施設であることから、運用にあたっては利用者の声に耳を傾け、いつまでも町民に愛される施設となることを望みます。

本年度の予算はふるさと納税などで全国から沼田町に寄せられた「ふるさとづくり基金」2億6641万8千円を、目的に合わせた予算に充当しています。寄付者の思いを十分に反映した予算の執行と町民と寄付者に見える事業展開を望みます。

また、ふるさとづくり基金を充当した余力で、移住定住と町民の健康増進に大きくシフトした積極予算となっており意欲が伺えます。人口ビジョンの目標値を達成するためには多くの困難が予想されますが、移住定住事業は次の「まちづくり」につながる重要な事業であることから、所管部署はもとより総力を挙げての執行を望みます。

以上、本委員会に付託された条例11件と予算案9件につき、各課各部署より説明を受け慎重に審査した結果いずれも原案どおり可決するものとして決定した。

ただし、次の意見を付す。

○健康機械器具導入事業について

安心センターに設置される健康機械器具の導入にあたっては、多世代の町民が集い有効に利用されるようPRに努め、町民の健康増進、体力向上につながる運用を望みます。

も残業しない日を設けて意識改革してはどうか。
全職員の労働時間を調べることで抑止力にはならないか。実験的に調査してはどうか。



職員の健康管理はしっかりと考えてい。仕事の仕方については管理職から導くことも必要と考える。また残業の意識の

る対策を考えたい。
旭寿園の今後の収支は29年度、基金を取り崩す予算が提出されているが、今後の対策はどう考えているか、29年度はプライバシーを確保するための多床室の工事を予定しており、利用者ニーズを高め空きのないよう心掛ける



高田議員
29年度、基金を取り崩す予算が提出されているが、今後の対策はどう考えているか、



高田議員
29年度はプライバシーを確保するための多床室の工事を予定しており、利用者ニーズを高め空きのないよう心掛ける

たい。経費の無駄の見直しも必要。平成30年に介護報酬が改訂になるのでその動向を見て対応したい。
脳ドック受診助成はモービルMRIの検診助成を予算化しているが、他の町の病院で受けても助成できないか。



津川議員
モービルMRIの検診助成を予算化しているが、他の町の病院で受けても助成できないか。



次年度に向けて検討したい。



大沼議員
安心センターの健康器具も大切だが、パークゴルフ場のウォッシュレット設置、化石館の冷房改善、町民会館のLED化も必要と思うができないか。



関係者と早い時期に協議を希望对したい。



津川議員
条例改正で100歳をこえる方の祝い金が廃止されるが、継続するべきではないか。



敬意を表していいわけではない。

気持ちの表し方をどうするのかどういったお祝いをするのかいいか6月まで検討させてほしい。



町長への一般質問

問 町独自で交通ネットワークの検討をするべきだ

答 多くの皆様の意見を聞きながら進めて行きたい



高田 勲
議員

問 昨年11月にJR北海道が、単独で維持が困難な路線を発表しました。その後、鉄道ワーキングチームの報告が出され、JR留萌線は「地域の生活を支える路線」に分類されています。他の交通機関と役割分担を含め、地域交通のありかたを検討すべきと位置づけられています。

町は現在、北空知1市4町の検討会議に参加し、北海道や国による対策案が提示されるのを待っている状態です。

検討会議におけるスタンスを維持しながらも、沼田

町に合った地域交通のあり方を検討すべきです。仮に鉄道が廃止されても、通勤や通学、通院等でJR留萌線を利用している町民が、誰ひとり困らない具体策を今から構築するべきです。廃線ありきではありませんが、町民の足を守るための検討を始める時期です。



数年前からデマンドバスの運行を



行い、ある程度の成果を上げることができました。今年からは巡回バスの実証実験を行います。

JR問題とは切り離して考える事として、これを機会に沼田町の公共交通を今後どうするかを検証して、将来像を検討する時期にき

問 運転免許自主返納の取り組みは返納し易い環境に努めたい



長 原 誠
議員

問 少子高齢化が進む中で、高齢者の運転免許所持の割合は年々増加しています。

高齢者ドライバーの中には不安を感じながら運転されている方もいると思います。

全国や、道内の自治体では、運転免許自主返納制度の取組を行なっており運転免許を自主返納し易い環境

ていると思います。4月以降になりますが多くの皆様の意見を伺いながら現状の調査を行い、町民の足を将来的に守っていく方策を検討して行きます。移住定住を進める上でも、公共交通のあり方は重要であると認識しています。

づくりを実施しています。

近隣の町では一定額のタクシーチケットの助成をしています。

全国では運転免許自主返納サポート協議会があり、加盟企業、団体などで利用特典サービスを実施しています。

道内でもバスの運賃割引を行っている自治体もあります。

沼田町も今後の高齢化が進むことを考えるとき、自主返納の取組を行い家族や地域で高齢者の運転と交通安全について考える機会を作るべきと考えます。



町内の自動車運転免許所有者は1、

213人いますが、75歳以上の高齢者は196人で全体の16・2%です。

高齢者ドライバーが当事者になった人身事故は極めて少ない現状にあります。運転免許自主返納後の移動手段を町として考えていく必要があります。

今年度取り組む循環バスやデマンドバスの活用、高齢者タクシーチケット助成制度の拡充など総合的に考えて行きたい。

問 観光のトータルコーディネートが必要ではないか

答 プロデュースした情報を発信したい



之 範 野 鶴 議員

いと考えます。

沼田町には「自然環境」「歴史的な文化財」「観光資源」「施設」など、たくさん魅力ある資源があります。

その沼田町の魅力を時間と空間・色・匂い・味などでの観光資源をトータルコーディネートできる専門職の知識が必要と考えます。その様な事が観光振興対

策の、取り組みでないかと思いが考えを聞きたい。



沼田町は大きな祭りはあるが期間

が短く、長い期間で観光客が何時でも来られないのがこの町の弱点かもしれませ

ん。たくさん資源をうまく結びつけられていなく、コ

ーディネートされて無かったと感じます。

今年、移住定住も含み、プロデュースして情報を発信する予定です。

関係者の意見、民間の力をかり交流人口を増やしていける環境になってきたと思います。

問 インバウンド観光の取り組みは

答 北空知全体で考えていきたい



聡 峯 小 議員

問 ここ数年海外からの旅行者が日本に急増しています。

一時は買い物で、中国からの観光客が多かったが、今また別な方向でインバウンドの取り組みが注目を浴びていると報道されています。

観光振興対策に北空知観

光ネットワーク組織を主体としながら、インバウンド観光をターゲットに観光周遊づくりの取り組みを展開中です。

町としてはインバウンドの取り込みに関してなにをどのように活用して、観光客を呼び込もうと考えているのか聞きたい。



北空知の広域観光プロジェクトは今スタートしたばかりです。周遊コースを作っ



町民が一体「夜高あんどん」

うと検討しています。

沼田だけではなく全体を見て、必要なものを整えていかなければいけない。

宿泊のキャパシティ、言葉の問題などに対応しなければなりません。十分な体制の下に取り組み、インバウンドの誘致を北空知中心で考えています。

インバウンド

外国人が日本へ訪れてくる旅行のこと。訪日外国人旅行または訪日旅行。

問 町は(株)まちづくりぬまたとどのように関わるのか

答 商工会、J A、行政の三者がサポートしていく



宏 元 議員
久 保 議員

ークスが沼田町に出店となりました。(株)道北アークスと、(株)まちづくりぬまたとの間で10年契約を結び、月額31万4千円の賃料を払うという契約です。

問 新たにできる商業コミュニティ中核施設テナントの(株)道北アークスと、2月15日に締結した本契約の内容と根拠を聞きたい。

運営する(株)まちづくりぬまたの一年間の収支計画について、どう考えているのか。

沼田町は(株)まちづくりぬまたをどのようにサポートしていくのか。

新しい商業施設ができたとき、商工業全体が繁栄できる対策はあるのか。



農協と商工会、行政の三者がお互いの事を理解し実現した事業です。スーパの誘致を商工会が承認し、(株)道北ア



本格開業が待ち遠しい商業施設

(株)まちづくりぬまたの収入源はテナント料を含め、Aコープで取り扱っていた外商部門などです。現状の収支計画は、売り上げ目標は3700万円を

想定しています。経費については、3300万円程度の計画になっています。

これを契機に、商店街の活性化を図っていくことを

商工会の総会で決議されました。商店街が利益を上げて活性化するために、アドバイスや協力をしていきたいと考えています。

問 優しさが感じられるまちづくりを

答 成果は少しずつ出てきている



均 川 議員
津 議員

問 沼田町の人口は3186人と目標ビジョンを下回っています。移住定住も今ひとつ成果が上がっていない中で、今年度の執行方針として、健康で安心して暮らしやすいまちづくりを掲げています。

コンパクトタウンを中心とした街づくり、福祉・医療・保健の充実、住みよい生活基盤の確保、それぞれが重要なことだと思えますが、これは何処の町も心がけている事だと思えます。予算概要では新規、拡充

予算で評価できる所もあるが、はたしてこれらの事業強化だけで移住定住へ成果をあげられるのか、内外の人達にアピールできるのか。私が住みたい、行ってみたい町は優しさ、温かさを感じられる町だと思います。この町を訪れた人達が、もう一度この町に来てみたい、この町に住んでみたいと感じてもらえるためには何が 필요한のか、考えを聞きたい。



ここ数年、いろいろな移住定住政策に取り組んできました。その結果、現時点では平成15年以来初めて転入者が転出者を上回ることに成りそうです。

その結果、現時点では平成15年以來初めて転入者が転出者を上回ることに成りそうです。



昨年度より移住定住応援室を設置して、PRに取り組んできました。その成果として、子育て世帯の移住が徐々に増えています。今後も暮らしやすさを追求し、他の町との違いを鮮明にして、PRしていくことが大切だと思います。

問 消費税の廃止を国に要求すべき

答 社会保障制度の維持のために必要と考える



守 場 議員
橋

問 今年4月に予定していた消費税の10%への引き上げは、2年半後に先送りとなりました。景気の回復は行き詰まりの様相を呈しています。

昨年6月に日本共産党が「消費税に頼らない政策」を発表しました。大企業が納める法人3税、富裕層への所得税や住民税には優遇税制が適用されています。一方で国は、年金を引き下げ、福祉制度の自己負担を引き上げています。

橋場議員のその他の質問

問 トップランナー方式の廃止を国に求めています

答 行政改革を進めています

問 山野草の利用を進めては

答 今後、相談させてほしい

大企業や富裕層が税金を負担することで、消費税を廃止しても福祉制度の充実を図ることが出来ます。

町民の「年金下げな、福祉の増進」の声とともに、消費税の廃止を国に求めて行きませんか。



消費税は必要だと
思います。

国全体を見てみると、現在40兆円の医療費が、2025年には60兆円になります。また、年金と介護にかかる費用も、現在の110兆円から149兆円にと増大します。

社会保障と税の一体改革のなかで、過去に多くの議論があり、消費税を上げて

いくとの基本的な合意があります。町も今後、社会保障費の負担が増えていきます。

みんなで税を負担して、消費税を上げた分を社会保

問 ダムの管理による水田浸水対策を

答 減災対策委員会の中で協議して行きたい



雄 邦 議員
杉 本

問 昨年、道内では4度の台風上陸で上川・空知・十勝など全道で人身被害を含む甚大な被害をうけました。

近年温暖化により想像以上の大雨が降る恐れがあるため、開発局では河川の水位など適切な情報を提供していきたいと報道している。

障にしてみらうのが、導入時点からの趣旨です。この制度は維持されるべきです。



しかしながら沼田町の水田浸水被害は毎年起きています。この原因は鷹泊ダムの満水放水が考えられます。

ダム管理者と北空知広域自治体、気象庁との連携を行い早期放流により水田浸水被害防止ができないか。

また、雨竜川の改修計画で川幅・川底改修で水害被害対策の話が10年程前にありました。

その後の経過について町などへ説明があったのか聞きたい。

杉本議員のその他の質問

問 国保の運営が変わるが保険料はどうなるのか

答 国保の標準保険料率を基に町の実情に応じ考える



昨年、十勝の台風大雨による被害があり、開発局で各河川の流域対策を進めています。

3月、滝川市で北海道開発局主催による石狩川下流減災対策委員会があり、その中に雨竜川他外部部会があります。

昨年10月31日石狩川雨竜川水系の洪水想定区域の見直しがありました。

減災対策委員会は、住民の避難や浸水被害軽減に向け、自治体・河川管理者などで流域防災システム構築を進めています。ダムの水害対策はこの会議のなかで要請したい。

雨竜川の改修の動きは現状ありません。予算が確保できていません。

危険!!
ダムの放流による増水に注意

雨竜川にある注意看板

No-22

問 町内会名簿など個人情報の扱いは
答 手引きを作成したい



大沼恒雄
議員

個人情報保護法が施

行されてから15年経過し、平成29年5月30日に全面施行される。

個人情報保護法の改正点では5千人要件の撤廃と営利・非営利の別が問われないう事になったので、町内会、自治会、同窓会名簿なども関係してきます。

基本的に個人情報は予め本人の同意を得て取得するのが原則ですが、町内会において、会員名簿作成するときに、オプトイン・オプトアウト手続はしてないだろうと思います。

町内会が個人情報取扱事業者とみなされると行政区が個人情報を集め、補完し扱っていくのが問題になります。

条文だけ見ても中々理解できない。

どのように個人情報に向き合っていけば良いのかを町の指導も含め町内会などに示す必要があると思うが町長の考えを聞きたい。



こういった制度になってしまったルールに沿った取り扱いが求められます。

町内会では各種町内会活動、管理運営、親睦など名簿を整備されていると思いますので、簡単な手引きを作成して取扱方法などを早急に区長にお知らせしたいと思っています。

オプトイン

個人情報を取得する時に事前の同意を得ること。

オプトアウト

個人情報の第三者提供に関して、本人の求めに応じて提供を停止すること。

議会の動き

産建福祉常任委員会
道外視察報告

総務民教常任委員会
道外視察報告



沼田農業の展望



沼田町「化石」の可能性

議員セミナーを開催

3月22日

- ◎秋田県大潟村
- ◎岩手県葛巻町
- ◎宮城県角田市

- ◎福島県いわき市 アンモナイトセンター
- ◎群馬県神流町 恐竜センター
- ◎東京都上野 国立科学博物館

昨年、総務民教・産建福祉常任委員会で視察した研修報告を行いました。多くの皆様にご参加いただきました。



教育長への一般質問

問 社会教育、体育施設の運営方針は

答 利用者増加の努力をしたい

津川 均 議員

問 12月定例で社会教育、体育施設の利用向上へ向けての質問をしてから3か月が経過しました。その時には各関係機関と

十分に検討をして利用度を高めていきたいという答えがありました。

まもなく色々な野外施設の活動が始まりますが平成29年度運営に向け、関係機関との連携を含め検討がどの程度されたか聞きたい。

また、これらの施設を利用してくれる町内外の人々に対するホームページの更新のチェックや案内標識に不親切な箇所が見受けられるので、各施設への案内標識を増やしてはどうか。

教育長

教育委員会

委員8名、スポーツ

推進委員7名、教育委員5名で、懇談会を2月に開催し施設利用を含め意見交換をしました。
各施設とも利用者に対しインターネットによる呼びかけ、あるいは毎年利用していたいている団体に対し、PR情報を送りながら利用者の増加について努力したいと考えています。
案内標識については沼田町のイメージを理解していただけるように、デザインコードを定め、統一感を持たせたい。
ホームページに古い情報が数か所見受けられたので、全部見直しをして訂正をしました。
今後は注意をしたいと思っています。



問 スノーシューの散策を

答 安全管理が問題

橋場 守 議員

問 沼田町には、スノーシューで登れる山を探している愛好者がいます。

幌新岳・玄武山から大雪山系が見えます。堅雪の時期になると長靴で自由に歩けます。
スノーシューや山スキーに最適だと思えますので関係者は登ってみてほしい。ただ、熊が一頭いるので必ず笛を持って入ってほしい。ほたる館と幌新岳、旧登

山口から玄武山へのスノーシューの散策をスポーツ観光としての可能性があると思うが考えを聞きたい。

町長

新しい観光メニュウの中でスノーシューもいいとは思いますが、安全管理をどうするかが一番の問題です。

教育長

熊が一頭でもいるとしたら、行政としてはプログラムすることは難しいと思います。



多くの皆様のご利用をお願いします



スノーシューの散策

おんがくの集いで スコップ三昧線

3月11日に町民会館で開催された集いに、参加しました。

会場に集まった260人余りの観客のなかで、渡辺議長の「望郷じょんがら」に合わせて6名が、ちよつと緊張気味にスコップ三昧線を披露しました。

益金の10万円余りは、災害復興支援基金等に寄付さ

れます。実行委員会の皆様お疲れ様でした。



防災倉庫からスコップとヘルメットを借りました

議会事務局員が 交代しました

2年間お世話をいただいた林亮太書記が、建設課へ異動となりました。

林書記のパソコンのブラインドタッチは、その速さはもちろん、正確さにも驚かされました。

議会事務局で得た多くの経験を活かして、一層のご活躍をお祈りいたします。代わって沼本次登主査が

建設課より異動となり、4月より着任しています。



事務引き継ぎ

あとがき

新年度がスタートしました。我が沼田町にとっては、新しいチャレンジの年になりそうです。念願であった「商業中核施設」がオープンし、町営クリニックスを含む「安心センター」も順次稼働してまいります。

町の将来と、みんなの幸せのために建てられた施設です。今までの枠にとらわれず、利用者本位での運営に期待が集まります。

さて、町の移住定住施策が、にわかに注目を集めています。リノベーション事業などがマスメディアを賑わせているのは、町民のひとりとして嬉しい限りです。

新年度は転入者が転出者を上回る、転入超過を目指したいものです。実現したら・・・何十年ぶりののだろうか。

広報特別委員

大沼恒雄 高田 勲
小峯 聡 長原 誠
鵜野範之

みんなの広場

幸 齢 人 生

沼田長生クラブ会長 松野茂雄

私の好きな言葉で「人のために灯をともしれば、我がまえ明らかになり」という至言があります。

私事ではありますが、50代の時に町・農協より多額の支援を戴き、ヨーロッパ八カ国を研修させていただきました。何かで恩返しをと思って来ましたが、はからずも長生クラブの副会長を8年間務めさせていただきました。

今回は会長を引き受ける事になりました。元よりその器ではございませんが、誠心誠意努めてまいりますので、宜しく願い申し上げます。

当クラブは高齢者の集いではありますが、まだまだ元気な方が大勢おります。沼田駅舎の清掃・春夏秋冬の交通安全街頭啓発等のボランティア活動。お花見・研修旅行・年祝・忘年会等のお楽しみ会。パークゴルフや健康教室。町長さんや議員さんとの懇談会など、盛り沢山の行事を計画し実施致しております。

現在150名程度の方が入会致しておりますが、未だ入会していない方の加入を希望致しております。固くなった体と頭をほぐしながら、人のため・地域のために何ができるかを考えて、幸齢人生を歩んでまいります。



駅舎清掃ボランティア